

2025
4Miss Japan News
ミス日本ニュース2025年5月13日発行 vol.241
一般社団法人ミス日本協会

ミス日本

4月の活動ピックアップニュース

4月11日 緑の募金・緑の羽根着用
石破文雄内閣総理大臣を表敬

ミス日本みどりの大使の佐塚こころが、4月15日から始まる緑の募金の強化月間に先立ち、石破総理大臣を訪問。緑の羽根を取り付け、募金呼びかけに協力をお願いいたしました。**緑の募金は森林大国日本に欠かせない林業を助け、担い手の育成に遣われることで、豊かな森林を後世につなげる取り組み**です。**募金の一部は災害支援にも遣われ**、大船渡で発生した山火事の復興にも役立てられています。佐塚は、全国で進む木質化の事例として、母校の国際基督教大学の体育館がCLTで出来ていることをお話。石破総理はCLT推進議連の会長ということもあり、木々の利用を通じて地方創生をすることの大事さをお話されました。

4月15,16日 緑の募金強化月間
協力団体を訪問

みどりの大使佐塚は、緑の募金PRのために、財界の代表者らに募金呼びかけの表敬訪問を行いました。豊かな経済活動は、豊かな国土が大前提です。

左上：森林づくり全国推進会議

櫻田謙悟会長

右上：ウッドチェンジ協議会

隅修三会長

左：林業復活・地域創生を推進する
国民会議 宮下正裕会長

4月19,20日 かすみがうらマラソン兼
国際ブラインドマラソン大会

茨城県で開催されたかすみがうらマラソン大会にミス日本グランプリの石川満里奈が登場。スタート地点や補給ポイントでの沿道応援にて、出場ランナーたちに声援を送り続けました。沿道には地元企業の日立の重機が立ち並んで応援する箇所もあり、見所多く飽きない市民マラソンです。

大会は盲人マラソン大会も併催。盲導犬の体験ブースがあり、目が不自由な場合の補助のポイントなどを体験で学ぶことができました。

4月29日 第32回郡山シティマラソン



ミス日本「水の天使」高坂実優が、福島県の郡山シティマラソンにゲストとして登場。郡山市は日本三大疎水の一つ、安曇疎水で発展してきた地域です。ハーフマラソンを中心に3,5,10キロなど市民が気軽に参加できる大会

です。高坂は一部レースのスターターを務め、号砲を撃ち鳴らし、声援を送りました。ゴール後給水ポイントではご当地甘酒やドリンクを振る舞い、選手たちを労いました。高坂がご案内したミスト車エリアは子供達でいっぱいでした！

4月2日

世界自閉症啓発デー
AOAartオンラインイベント

毎年4月2日は国連が定める「世界自閉症啓発デー」です。自閉症者への理解を広げるオンラインイベントに、準ミス日本の長尾巴菜子が司会として登場しました。長尾は現在教育学部で発達支援学級の実習に従事したばかり。このイベントで個々の豊かな感性や個性を感じ取る事ができて学びの深い時間となりました！引き続き、AOAの活動にコミットしていきます。

4月12日

Wom-tech主催
STEM女子未来会議2025

水の天使高坂と海の日高橋の二人は、共に理系学部で研究に打ち込んでいます。そうした理系を目指す学生や働く女性を対象としたトークショーにパネラーとして登場。「理系分野は男性」という先入観を打破し、女性の感性が待望され、実際役立つ事例などについて、盛り上がりしました。

4月2日

令和7年度緑の募金
新潟駅街頭募金

みどりの大使佐塚が新潟のみどりの少年団たちと一緒に、街頭募金を呼びかけました。募金活動には知事もかけつけ、その様子は地元のテレビや新聞も取材。たくさんの方々の善意で森が元気になりますように！

4月16、
21日

キノハナワークショップ



みどりの大使佐塚が、木のかんな屑で作るキノハナワークショップを開催。老若男女関係なく、作り手自身が驚くような花束を作り上げます。ぜひご企画にキノハナワークショップを検討くださいませ！

4月3日

海技資格協力センター
ポスター撮影

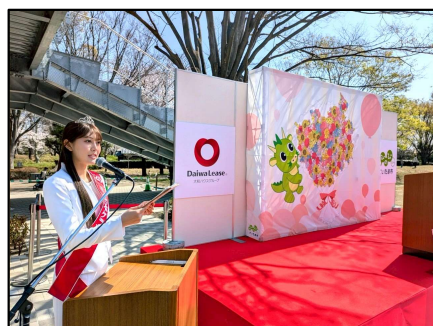
海の日の高橋彩乃が、海技免許の取得・更新の呼びかけや、ライフジャケットの着用ポスターの撮影に臨みました。今年取得した2級小型船舶操縦免許をつかって、洋上にも出て撮影。ポスターは夏から全国に掲示されます！

4月19日

銀座に新しいみどりの道を！
KK線 Roof Park Fes

銀座や有楽町周辺のビル上を走る高速道路「通称KK線」は高速道路全体のリニューアルに伴い廃止され、KK線は銀座を訪れる人達を楽しませる空中のみどりの道として生まれ変わります。廃止された道を歩くイベントに2024みどりの大使安藤が登場しました。会場には緑化第一人者の涌井史郎教授も来場。ニューヨークのスカイラインを超える、素敵のみどりの道構想がいよいよ現実化へ進みます。

4月5日

与野公園再整備完成記念式典
花が咲き、笑顔が集まる公園

グランプリ石川が埼玉県の与野公園の再整備完成記念式典に司会として登場しました。リニューアルした建物は、屋根を利用した展望台から与野公園自慢のパラ園を一望。大勢の人が憩いの時間を過ごす公園になりました。

4月26,27日

上高地開山祭と治山事業
中信森林管理署一日署長

治山工事の現況を視察。土砂を止めたり、崖の崩落を防ぐために、多くの方々の調査と努力があり、だから安全があります。

みどりの大使佐塚が、上高地開山祭に一日森林管理署長として登場。山開きの神事に参加し、鏡開きを行いました。安全な登山ができるのは、森林管理署が治山事業に取り組んでいることも忘れてはいけません。佐塚は

表敬や業界総会に登場し、知見を広げていきます



22日 中野洋昌国土交通大臣を水・海が表敬



22日 瀬口良夫海上保安庁長官を表敬



24日 第88回大和リース会 司会

23日 下水道管路管理業協会
関西支部 司会

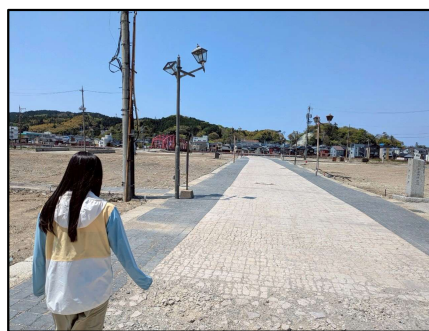
25日 下水道既設管路耐震技術協会 司会

4月29日 石川県 県民みどりの祭典



みどりの大使佐塚が、石川県の県民みどりの祭典に登場。馳知事に緑の羽根を取り付けし、集まった

方々に緑の募金の協力を呼びかけました。会場には緑の少年団たちも多く参加。佐塚は苗木の配布や苗木づくりに参加したり、県産材を使った木のボウリングやモルックなど、木のスポーツに親しみました。

4月30日 能登半島地震
緑の募金支援の現況視察

昨年1月の能登半島地震では、ミス日本協会は国土緑化推進機構が取り組む「緑の募金 使徒限定募金」への協力を呼びかけ、その支援によって木製自在棚の「組手什」を避難所に納品・組み立てを行いました。※昨年3月に2024みどりの大使安藤きらりが実施。この日、佐塚は能登半島地震からの復興状況を視察するため能登半島入。全焼した輪島の朝市エリアは、片付けられ、復興への道を少しずつ進めておりました。

周辺地域も、当時のままのところもありつつも、関係者の努力により徐々に作業が進められています。組手什は、避難所にて棚や靴箱、椅子や机などさまざまな形で避難者を助けました。避難所解散時には、組み上がった組手什を分解し、個々の希望に応じた形、仮設住宅に合わせたサイズに組み立て直され、引き続き生活を支えています。仮設に入られた避難者の方に話を聞きました。「組手什は本当に助かっている。木製品の家具は香りも良く、見た目に温もりが感じられて、とてもありがたい。この仮設での生活は、そのまま終の住処になるかもしれない。どうにもできないかもしれないが、多くの人が努力して変えようとしている。良くなることを信じて、一步一步進んでいく。この現状をまずは多くの方に知ってほしい」 少しの「出来ること」を集めることが大切です。ぜひ石川産品を選び購入しましょう！

4月の活動

- 2日 世界自閉症啓発デー
AOAartオンラインイベント出演 /長尾
令和7年度緑の募金新潟県街頭募金 /佐塚
- 3日 海技資格協力センター ポスター撮影/高橋
- 5日 埼玉県 与野公園再整備完成記念式典 司会/石川
- 11日 **緑の募金・緑の羽根着用**
石破茂内閣総理大臣/佐塚
- 12日 Wom-tech STEM女子未来会議2025 登壇/高坂,高橋
- 15日 緑の募金キャンペーン訪問
SOMPOホールディングス,ウッドチェンジ協会/佐塚
- 16日 緑の募金キャンペーン訪問
林業復活・地域創生を推進する国民会議/佐塚
キノハナワークショップ 講師/佐塚
- 19日 Tokyo Sky Corridor(KK線) Roof Park Fes/24安藤
- 19.20日 かすみがうらマラソン兼国際ブラインドマラソン
2025大会 ゲスト/石川
- 21日 表敬訪問 東京都水道局 & 下水道局/高坂
キノハナワークショップ 講師/佐塚
- 22日 表敬訪問 中野洋昌国土交通大臣 海上保安庁長官
/高坂,高橋
- 23日 日本下水道管路管理業協会東北支部 /高坂
- 24日 第88回大和リース会 進行司会/石川
- 25日 下水道既設管路耐震技術協会 総会懇親会 /高坂
- 27日 上高地開山祭 ゲスト /佐塚
- 29日 福島県第32回郡山シティマラソン大会ゲスト/高坂
- 29日 石川県みどりの祭典 ゲスト/佐塚
- 30日 能登半島地震被災地視察
& 緑の募金支援の現況視察/佐塚

4月のメディア掲載

- 11日【新聞・WEB】石破総理大臣への緑の募金訪問が掲載
- 24日【雑誌】週刊新潮 1p インタビュー記事/石川
- 11,18,25日【WEB】FITNESS LOVE ミス日本便り活動掲載
- 4月【冊子】日本下水道協会「下水道協会誌」寄稿/高坂
【冊子】林野庁「情報誌林野」寄稿/佐塚
【冊子】「ウッドミック」3月お披露目会記事/佐塚
【冊子】日本森林技術協会「森林技術」訪問記事/佐塚
【ポスター・チラシ】全国森林組合連合会 緑の雇用/佐塚



緑の雇用のチラシに佐塚が登場。林業就職を応援します！
ポスターは全国の森林関連施設にて掲示開始です！

5月の活動予定

- 2日 キノハナワークショップマイスター資格試験 /佐塚
- 3日 Jリーグ松本山雅FCホームマッチ 緑の募金よびかけ /佐塚
- 7日 表敬訪問 昭和西川 /ミス日本4名
- 10日 国土緑化推進機構 みどりの感謝祭 /佐塚
- 11日 みどりとふれあうフェスティバル /佐塚
- 12日 2025関西・大阪万博記念国際フォーラム 司会 /佐塚
- 13日 東京都下水道局 神田下水視察 /高坂
長野林業土木協会定時総会 & 60周年記念式典 /佐塚
- 14日 日本下水道管路管理業協会 関東支部総会懇親会司会 /高坂
- 15日 パルテム技術協会 総会懇親会司会/高坂
とうきょう林業サポート隊ポスター撮影 /佐塚
海の事故ゼロキャンペーンポスター撮影 /高橋
- 17,18日 みなかみ町 春の3点ダム放流 /高坂
- 19日 スポニチフォーラム ゲスト /石川,高橋
海の日ポスターコンクール表彰式 /高橋
海事情報WEBマリンネット 取材 /高橋
- 20日 全国上下水道コンサルタント協会中部支部総会 司会 /高坂
佐久地域森林祭 ゲスト /佐塚
冊子「森林組合」佐久穂小中学校インタビュー /佐塚
- 22日 日本下水道事業団 季刊水すまし 取材/高坂
- 23,24日 第75回全国植樹祭埼玉県2025 公式記録撮影 /佐塚
- 25日 大阪もんフェスタ ゲスト /石川,長尾
第75回全国植樹祭埼玉県2025 /佐塚
- 28日 全国上下水道コンサルタント協会関西支部総会 /高坂
- 29日 大和リース協力会連合会 司会+/石川,長尾
日本下水道施設管理業協会 総会講演会司会 /高坂
全国燃料協会 総会懇親会司会 /佐塚
- 30日 日本林業協会 キックオフ・フォーラム司会 /佐塚
- 30,31日 岡山県下水道のチカラ展 ゲスト /高坂
- 31日 京王クリーンキャンペーンin高尾 /石川,佐塚,長尾

@@@専務理事・和田健太郎の編集後記@@@
みどりの大使が出来たきっかけ

現在のグランプリ含めた6賞の中で、最も新しく、そして最も活動日数が多いのがみどりの大使です。単純に案件が多いこともありますが、そもそも活動場所が「山林」になることが多く、日帰りが不可能なケースが多いことも拍車をかけています。2015年に発足したみどりの大使がなにをきっかけに出来たのかを記録しておきます。

きっかけは、2013年のミス日本グランプリ、鈴木恵梨佳さんのみどりに対する思いと活動です。当時、鈴木さんは日本大学にて造園緑地学を専攻し、園芸に力を注いでいました。ミス日本任期中には日本植木協会にて機関誌の連載を持つようになります。これが森林関係者の目に留まります。2014年7月30日には「新たな森林づくりシンポジウム」にて鈴木さんが司会及びステージのグリーン装飾製作を担当。ミス日本が単に賑やかではなく、将来に向けて勉学・努力する若者であることを明確に示すことができました。鈴木さんのここでの活躍が、林野庁や国土緑化推進機構など現在のみどりの大使を支える中核の方々との出会いに繋がりました。そして、この時点ですでに発足していた「海の日」「水の天使」の仕組みを参考に、2015年にミス日本みどりの女神賞が誕生していくこととなったのです。

2023年に名称を「みどりの大使」に変更。その役割と実態を、説明不要で名称のみで相手に伝わるようになりました。

ミス日本が提唱する3つの美の中で「行動の美：目的目標に向けた具体的な挑戦」をする方が森林関係にとっても多く、全国各地でその熱意に触れ、受賞者も触発されています。そしてみどりの大使も含めて、ミス日本はすべての賞が「受賞者の個性を活かす」方針です。今年の佐塚はキノハナに取り組み、今後もチェンソーや手話などを活かしていきます。